

経営比較分析表（平成29年度決算）

山梨県北杜市 甲陽病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	透訓	救感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
47,587	8,220	第2種該当	10:1	

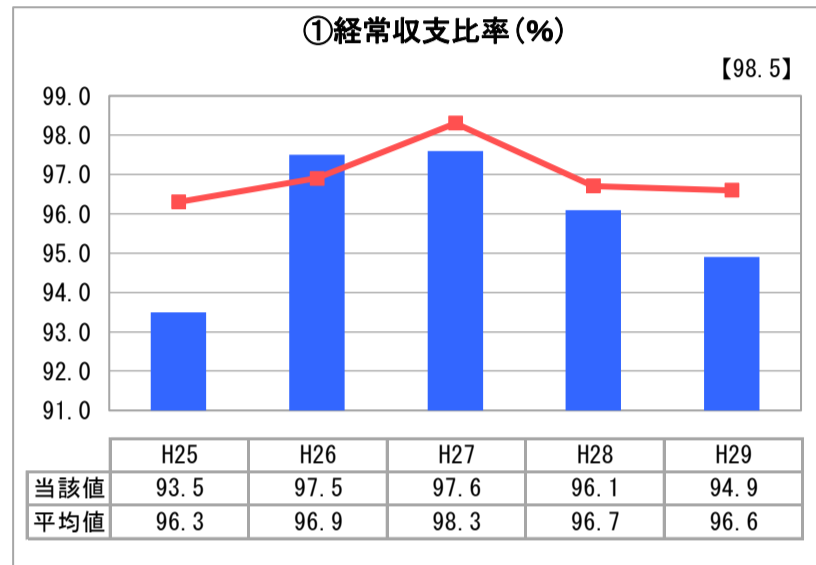
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

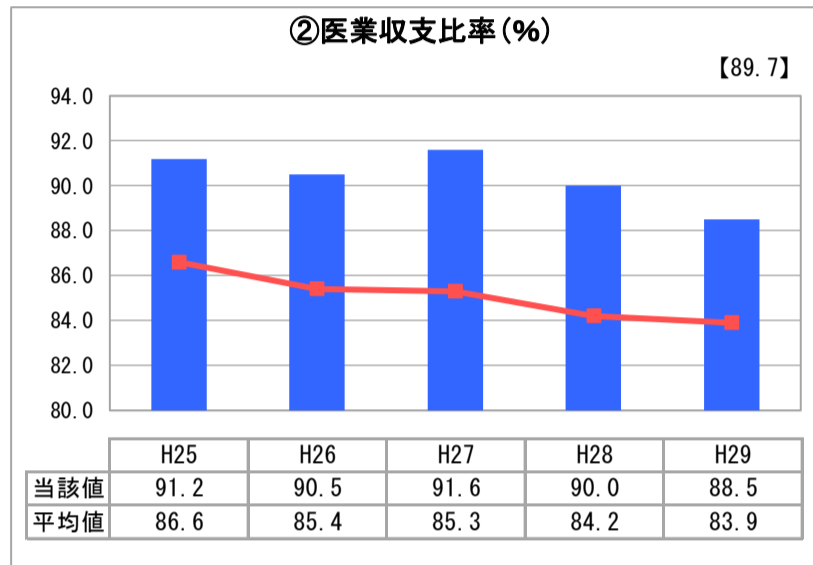
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
86	32	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	122
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
60	32	92

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成29年度全国平均

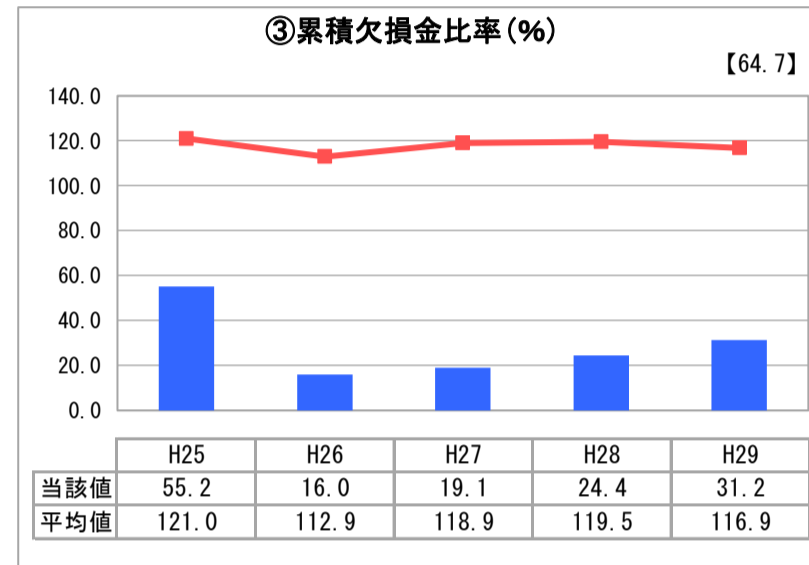
1. 経営の健全性・効率性



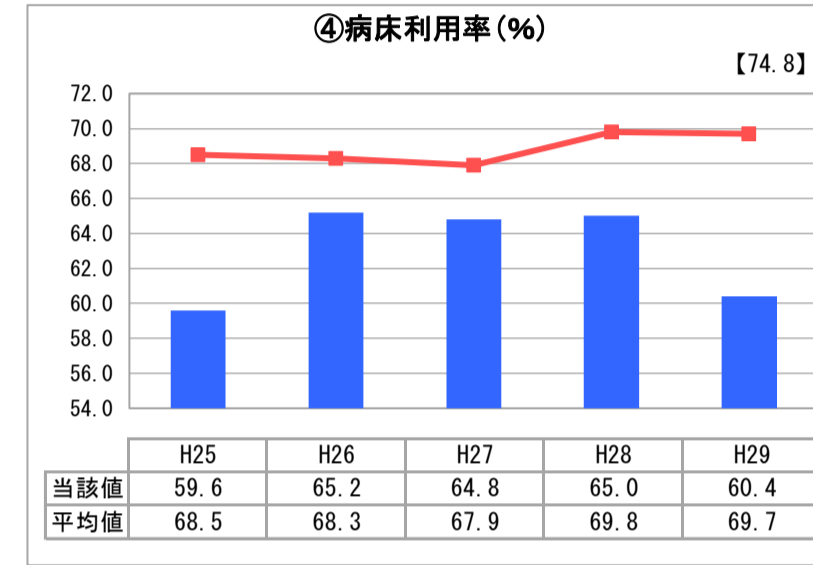
「経常損益」



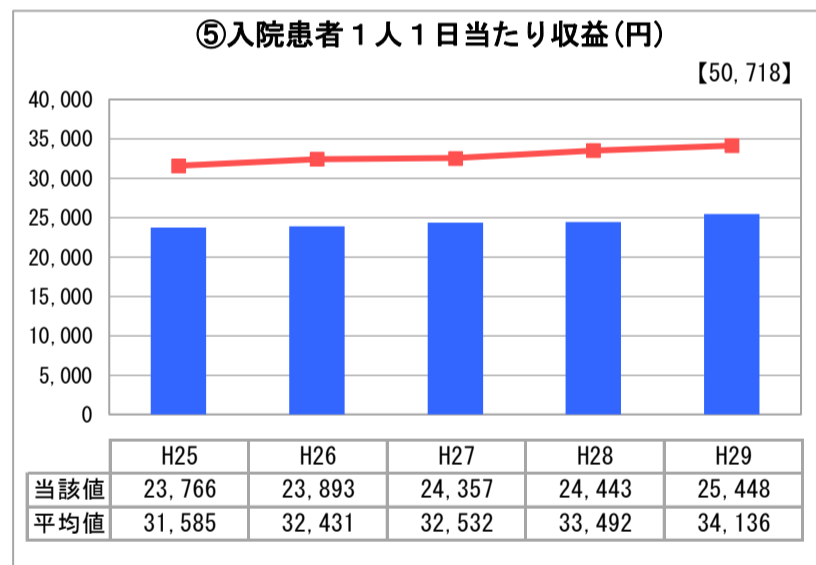
「医業損益」



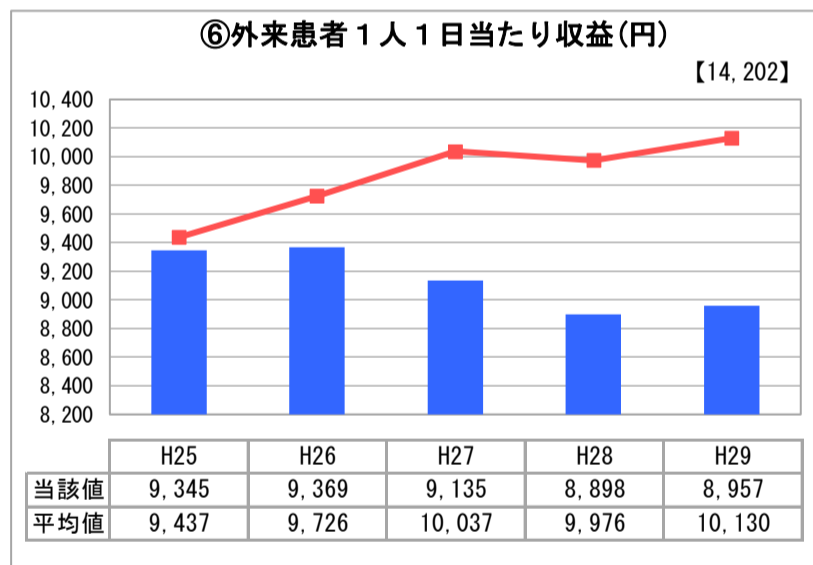
「累積欠損」



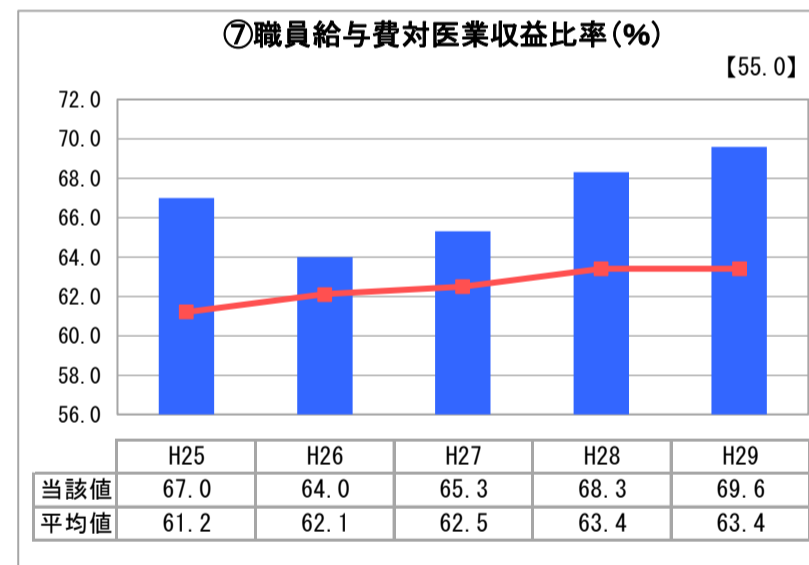
「施設の効率性」



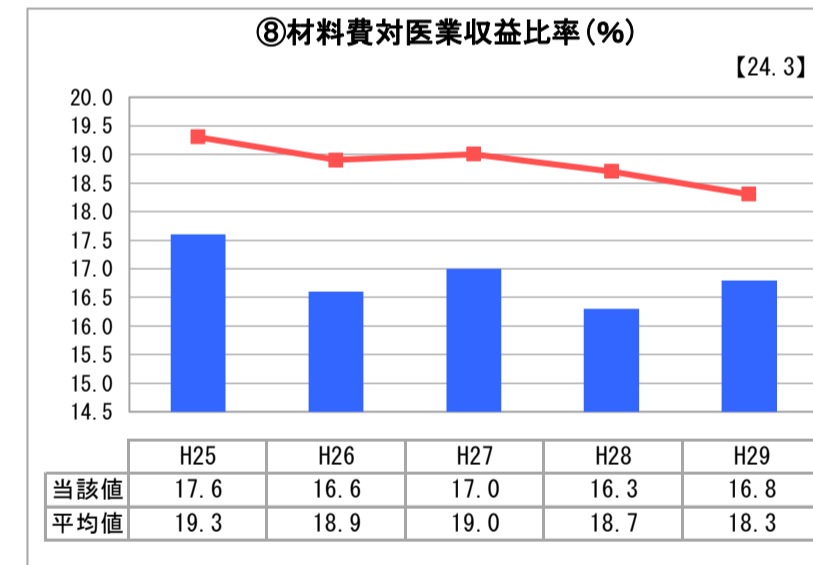
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

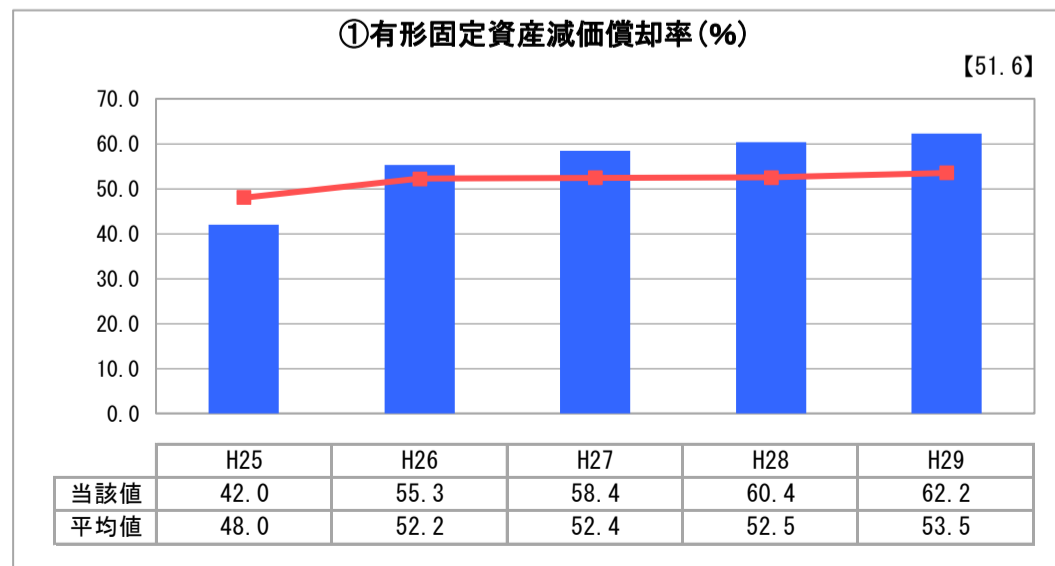


「費用の効率性①」

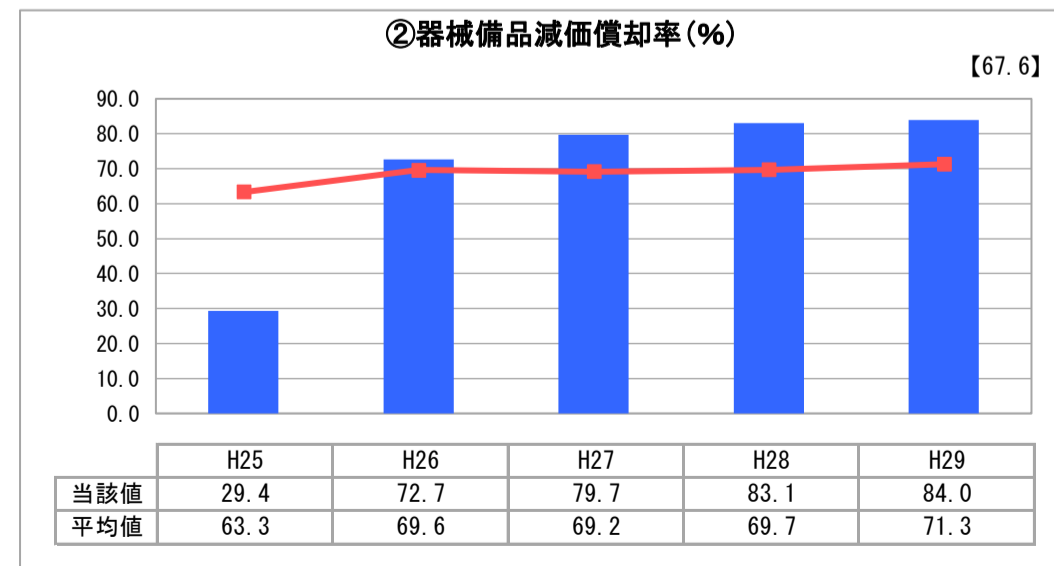


「費用の効率性②」

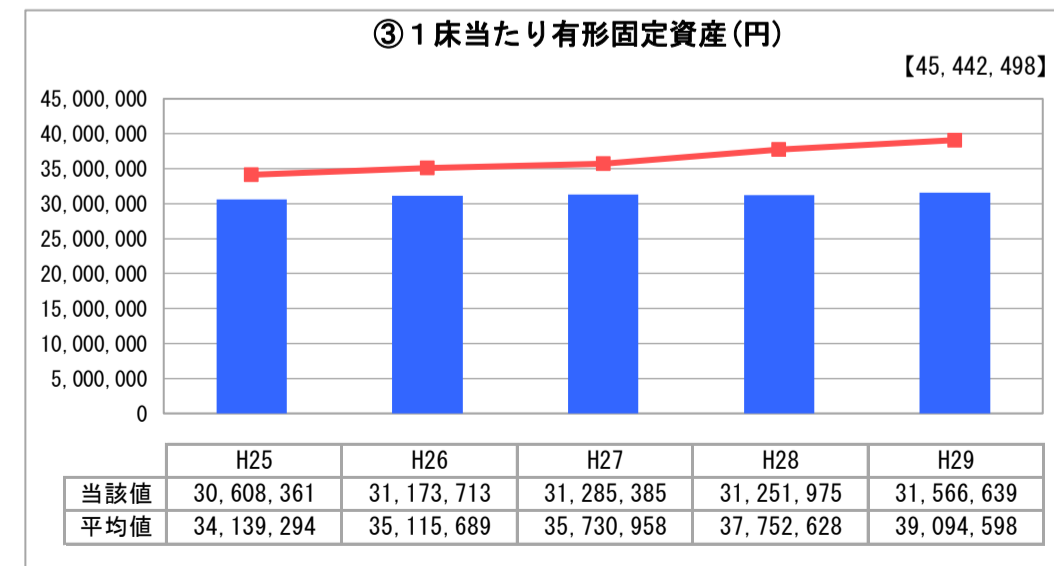
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院は、一般病床86床、療養病床32床及び感染症病床4床を有する地域中核病院として、以下の役割を担い医療を提供している。

- ・かかりつけ医として地域に密着した病院
- ・かかりつけ機能を強化した救急医療の実施
- ・地域特性に対応した医療の実施

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院の病床稼働率は類似病院平均を下回る状況であり、主因は医師をはじめとする医療スタッフ不足により医療需要に十分に答えられないことである。また、病床稼働率の低迷は「職員給与対医業収益比率」の上昇に反映しており病床稼働率の改善が当院の喫緊の課題である。他方、医業収支比率が類似病院平均を上回る状況であることは材料費、経費等医業費用の抑制に取り組んだ結果と考える。なお、経常収支比率が類似病院を下回っており、他病院と比較し繰入金が少ない状況で事業が運営されていることが推測される。しかしながら、施設の老朽化に伴う修繕、消費税増等今後経常費用の増加により経営状況がさらに厳しくなることが見込まれるため診療収入はもとより繰入金金の確保を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当院は平成9年の本館竣工以降二度の改築を経て現在に至っている。1床当たり有形固定資産の数値が類似病院平均を下回っていることから必要性を考慮し設備投資を行なっていると考えるが、有形固定資産及び機械備品の減価償却率が類似病院平均を上回る状況が示すとおり経年劣化が進行しており、今後大規模修繕費等の費用の増加を見込まれる。今後経営状況を考慮した更新及び保全の計画が求められる。

全体総括

医療の持続的な提供のため医師、看護職員などの医療資源の確保に努め、病床の効率的な運用等経営の健全化を図る必要がある。しかしながら、効率的な運営のみでは今後増大する費用をまかなうことは困難であり、繰入金増額等検討する必要があるため経営の効率化及び繰入金増額を検討する庁舎内検討会を実施する。また、施設設備や医療機器の更新は医療の安全と質を担保する上で必要不可欠なものであるため計画的に取り組んでいく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。